

とさのねジャーナル



Vol.1

とさのねジャーナル、はじめます。

令和5年度より活動をスタートした、高知県地域おこし協力隊ネットワーク「とさのね」は、高知県内の地域おこし協力隊、および、OB・OGをはじめとした、協力隊に関わる方々の連携を深め、協力隊の活動を支援する団体です。これまではWebサイトや公式LINEを通じた情報発信を行っていましたが、より多くの協力隊や関係者に情報を届けるため、不定期ではありますが、紙媒体を通じた情報発信を始めます。

新年度のスタートとなる第1号では、令和7年度の取り組み内容や、新メンバーを含むサポートメンバーの紹介を中心にお届けします。

令和7年度の取り組み内容 What's this activities?

市町村伴走型支援

支援を希望する10市町村を対象に4ヶ月に亘って毎月訪問。

面談を通じて協力隊の想いや価値観を引き出しながら、ミッションや任期後の活動の方向性を明確化し、「なりたい姿」の実現に向けた個別サポートを行います。

初任者勉強会の企画 / 運営

(5月、10月開催を予定)

着任1年未満の協力隊等を対象に開催。地域づくりに取り組む姿勢や心構え、行政の仕組みについて学ぶとともに、参加者間の交流を深めます。

交流勉強会の企画 / 運営

(6月、11月開催を予定)

協力隊、集落支援員を対象に開催。地域づくりに関わる方々をゲストに迎え、参加者のヒントになる地域活動や、なりわいづくりに関するノウハウ等について学びます。

協力隊OB/OGなりわい紹介



起業を検討中の協力隊が、これから立ち上げるなりわいの参考になるよう、県内で起業された先輩協力隊を対象に、事業の始め方や特徴、アドバイスなどを掲載。詳しい話を聞きたい場合は、直接問合せも可能です。

協力隊OB/OGインタビュー

令和6年度末で18名の先輩の取材記事を掲載。地域との関わり方や、協力隊活動期間中の悩み、工夫して取り組んだこと、任期終了後に向けた活動内容等、現役協力隊にとって参考になる取り組みや思考方法について紹介しています。



詳しくはウェブサイトをご覧ください



LINE公式を使った情報発信

令和6年度末で協力隊の約140名が登録(OB/OG含む)。

とさのねが企画する研修や、県内で開催される起業に関する研修に加え、各地域での協力隊の取り組み等を発信しています。協力隊が主催するイベント等については、本LINEを通じて情報発信ができますのでお気軽にお問合せください。



登録はコチラより

すごく悩んでいることも、
ちょっと聞きたいことも、
個別相談をご活用ください。

個別相談窓口



「個別相談」と聞くと、深い悩みを相談するイメージがありますが、実はこれまでに一番多いのは、ちょっと話を聞いてもらう「壁打ち」。LINEチャットやメール、電話から、気楽にご連絡ください。

メンバー紹介

Who does it?



サポートリーダー

廣瀬 真也

高知県高知市出身。自然豊かな土地での暮らしを実現するため、17年務めた鋳物メーカーを退社し、家族で高知県越前町へ移住。同町地域おこし協力隊として、観光・賑わい創出に関わる20件の企画を実行。現在はマルチワーカーとして、自家製酢のパンと焼き菓子・喫茶店「とちの」、まちの情報誌「おちぼん」編集長等、複数のまちづくり事業を展開。

高知県四万十町出身。

「目の前の人を幸せにしたい」という想いから、21年勤めた役場を退職し、2018年に特定非営利活動法人LIFEを設立。四万十町を中心に、自然を規範とし、人に寄り添った暮らしの提案を行う。他にも特定非営利活動法人学生服リユース協会理事、行政書士等。最近の趣味はラジオとボッドキャストと麻雀。



井上 義之

大原 梓

高知県安芸市出身。越前町地域おこし協力隊および集落支援員として6年間、集落活動センターの設立～運営に携わる。現在はセンターの役員として活動に参加しながら、個人としては食を通じた地域づくりに興味があり、「身近な人の健康を食で支えたい」、「地域の地の利を生かした家庭料理を受け継ぎたい」という思いを軸に、お弁当等の製造販売を行いながら、なりわいづくりを模索中。



小笠原 知美

高知県高知市出身。2018年から津野町地域おこし協力隊に着任し、集落活動センターしらいしを拠点に、地域の方々と共にその土地の魅力を引き出しながら地域づくりに取り組む。2021年から同町地域コーディネーターに着任し、町内で活動の輪を広げ、地域の方々と共に考え活動し、地域振興を続けている。好きなものは高知の美味しいものの探しと旅行。



奈良県橿原市出身。2014年から夫と子どもたちと高知県室戸市へ移住(夫は漁師)。2017年より椎名集落活動センターたのしい担当集落支援員。むろと地域猫の会、室小お話し会、ウクレレユニット「いそもん」としても活動。各種観光ガイドやインストラクター、ライター業もしており、特技は人と人をつなぐこと。



川島 尚子

NEW 今村 ひろゆき



千葉県松戸市出身。2021年から高知県の町に家族で居住。「すべての人はクリエイター」をモットーに「まちづくり会社ドラマチック」を2011年立上げ、様々な場の運営を仕事に。2020年から高知県宿毛市「林邸」指定管理者。高知の豊かさに惚れ、ワクワク暮らしてつけられる仕組みをつくらうと「みんなでつくるまちづくり財団HATA!」を立上げ、理事に。好きなものはカレー・ケーキ・旅。

和歌山県有田市出身。2022年に妻と共に高知県の町に移住、協力隊へ。移住前は県立特別支援学校の教諭として7年間子どもたちと関わり、現在は合同会社KISHI WEB&DESIGNを経営。Webサイトの制作・リニューアル・管理を主軸としたWeb系の事業全般を行う。その他に、アウトドアサウナ事業「本川



サウナ ニジユマル」、猟師等。趣味は野菜づくり等の田舎暮らし全般。

NEW 貴志 諭里

NEW 森岡 千晴

高知県土佐市出身。2014年から高知県青年団協議会として若い世代と地域活動に取り組む。移住者と地域との「つなぎ役」が改めて大切だと感じ、2024年春に土佐市青年団の有志たちと「土佐市くらしネットワーク Reborn」を立ち上げる。現在は、土佐市地域おこし協力隊の活動サポート事業を行う。シンガーソングライターとしても県内各地を奔走中。



高知県宿毛市生在。宿毛市の不動産屋の嫁、週末は広報担当。人口減少、壊されていく空き家、30年後のまちの「住む」を考えた時、ワクワク楽しいまちになったら、住んでいる自分たちも楽しく、子どもも帰ってきたくなし、それをみる人も住みたくなると、幅多地域に特化した「みんなでつくるまちづくり財団HATA!」を2024年に設立し代表理事就任。好きなことはSNSで地域の情報を探し食べ発信すること。

NEW 竹村 優香



市町村職員の皆さまへ

For city office worker

スタートアップガイドをご活用ください

令和6年度に発行した「高知県地域おこし協力隊スタートアップガイド」は、これから協力隊を目指す方や、着任間もない協力隊を対象に、協力隊着任時の不安低減を目的に、着任1年目の活動におけるポイントを整理したものです。新たに着任する協力隊が多い4月や5月。協力隊にとって着任初日は、期待と不安で胸がいっぱいだと思います。ガイドブックもご活用いただき、各市町村の実状にそった行政ルールの説明や、仕事の進め方等について協力隊への説明をお願いします。尚、ガイドブック内の「活動前のチェックシート」を使えば、隊員とより具体的なコミュニケーションをとることができます。内容や活用方法など、不明点あればお気軽に、とさのねまでお問合せください！



発行・問い合わせ

高知県地域おこし協力隊ネットワーク とさのね
tosanone.nw@gmail.com
080-4030-7187 (サポートリーダー 廣瀬)